

- 問1 イタリアなどの地中海沿岸の国々では、夏に乾燥し冬に雨が降る「地中海性気候」がみられます。この気候において、夏の乾燥に強いという特徴を活かして栽培され、油の原料などにもなる代表的な農作物はどれですか。（2020年 熊本県公立入試 類似）
1. 天然ゴム 2. カカオ 3. オリーブ 4. 油やし
- 問2 ヨーロッパ連合（EU）加盟国の最低賃金を示した統計資料において、ドイツやフランス、ベルギーなどの西欧諸国はEU平均の約1000ユーロを大きく上回る一方、ポーランドやルーマニア、ブルガリアなどの東欧諸国は平均を大きく下回っています。このような経済格差があるなかで、EU域内で活発に見られる人口移動の傾向として、最も適切なものはどれですか。（2026年 神奈川県公立入試 類似）
1. 農業が盛んな西欧から、工業化が進む東欧へ労働力が移動している 2. 内陸部の東欧諸国から、水産業が盛んな大西洋沿岸の国々へ労働力が移動している 3. 賃金の高い西欧・北欧から、生活費の安い東欧へ労働力が移動している 4. 賃金の低い東欧から、より高い賃金を求めて西欧・北欧へ労働力が移動している
- 問3 ヨーロッパ連合（EU）が、域内での経済的な結びつきを強め、人や物の移動をより円滑にすることを目的として導入した共通通貨の名称を答えなさい。（2014年 和歌山県公立入試 類似）
1. フラン 2. ドル 3. ユーロ 4. ポンド
- 問4 二〇二二年の主要国の発電事情に関する資料において、総発電電力量が五千七百七十三億キロワット時であり、その内訳が化石燃料四十五・九パーセント、再生可能エネルギー四十一・〇パーセント、原子力が三・〇パーセント以下となっている国があります。比較される主要国の中で再生可能エネルギーの発電割合が最も高いこの国はどこですか。（2025年 千葉県公立入試 類似）
1. 日本 2. フランス 3. ドイツ 4. アメリカ合衆国
- 問5 イタリアの農業統計において、小麦の生産量が米の生産量を大きく上回っている状況があります。この農業的な特徴が、イタリアの食文化にどのような影響を与えていると考えられますか。最も適切な説明を選びなさい。（2024年 東京都公立入試 類似）
1. 米の生産が困難なため、とうもろこしを主食としてそのまま食べる文化が中心である。 2. 生産量の多い小麦を主原料とした、パスタやピザを食べる文化が定着している。 3. オリーブの栽培に特化しているため、穀物を全く摂取しない食生活が一般的である。 4. 寒冷な気候で育つライ麦の生産が多いため、黒パンを主食とする文化が普及している。
- 問6 欧州連合（EU）の加盟国間では、経済や政治の統合が進む一方で、それぞれの国の経済状況や社会情勢により、加盟や離脱に対する考え方が異なります。ある国では、市場の拡大や、開発が遅れている地域への補助金といった経済的な恩恵を期待して2013年に加盟しました。一方で、別の国では、EU域内からの移民の増加や、共通のルールによって自国の独自の文化が失われることへの懸念から、国民投票を経てEU離脱を選択しました。これらの状況に該当する国の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2024年 北海道公立入試 類似）
1. 期待して加盟した国がドイツ、離脱を選択した国がフランス 2. 期待して加盟した国がイタリア、離脱を選択した国がスウェーデン 3. 期待して加盟した国がクロアチア、離脱を選択した国がイギリス 4. 期待して加盟した国がイギリス、離脱を選択した国がクロアチア
- 問7 ヨーロッパの中南部に位置し、イタリア北部からスイス、フランス、オーストリアにかけて広がる、標高4000メートル級の険しい山々が東西に連なる山脈の名前として正しいものはどれですか。（2026年 兵庫県公立入試 類似）
1. スカンディナ비아山脈 2. ウラル山脈 3. アルプス山脈 4. ピレネー山脈
- 問8 日本における産業分類の仕組みにおいて、自然界から採取した資源を加工して製品などを作る「第2次産業」に含まれる業種の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2025年 京都府公立入試 類似）
1. 製造業・建設業 2. 農業・製造業 3. 漁業・建設業 4. 商業・製造業
- 問9 ヨーロッパ南部の地図において、地中海の北側に東西に弧を描くように広がるアルプス山脈の地形的特徴について、正しい説明を選びなさい。（2024年 石川県公立入試 類似）
1. 環太平洋造山帯の一部であり、現在も大規模な火山活動が連続している。 2. 形成された時代が新しいため、標高が高く険しい新期造山帯に属している。 3. 氷河の影響を全く受けておらず、なだらかな斜面が続く安定陸塊である。 4. 形成された時代が古く、長年の浸食によってなだらかな丘陵地帯となっている。
- 問10 日本の九州地方では、11月頃に種をまき、翌年5月から6月にかけて収穫する小麦の栽培が行われます。イタリアにおいても、10月から11月に種をまき、6月に収穫するという、日本の九州地方と非常によく似た時期に小麦を栽培する形態が見られます。このような栽培サイクルが一般的であるイタリアの大部分が属する気候区分は何ですか。（2022年 熊本県公立入試 類似）
1. 熱帯雨林気候 2. 西岸海洋性気候 3. 温暖湿润気候 4. 地中海性気候
- 問11 ヨーロッパの言語や文化の境界線について説明した次の文の空欄にあてはまる組み合わせを選びなさい。「ヨーロッパでは（X）山脈付近を境に、北側と南側で言語グループが異なる。南側の地域では古代ローマの影響を受けたラテン系言語が普及しており、農業面では（Y）を活用した栽培が特徴的である。」（2025年 群馬県公立入試 類似）
1. X：アルプス
Y：地中海沿岸の夏の乾燥した気候 2. X：ピレネー
Y：内陸部の寒冷な気候 3. X：スカンディナ비아
Y：フィヨルド地形 4. X：アルプス
Y：北海沿岸の偏西風と暖流
- 問12 ヨーロッパの地形的特徴について述べた次の文のうち、イタリアの北側に位置するアルプス山脈の説明として最も適切なものはどれですか。（2022年 鹿児島県公立入試 類似）
1. アジア大陸の中央部に位置し、標高8000メートルを超える山々が連なっている。 2. プレートの運動によって地層が押し曲げられて形成された、険しい褶曲山脈である。 3. 比較的標高が低く、なだらかな山容が続く安定陸塊の山脈である。 4. フランスとスペインの国境を分かち山脈であり、古くから交通の難所として知られる。
- 問13 ヨーロッパの言語系統と、それらが主に話されている地域や具体的な言語の組み合わせとして正しいものはどれですか。なお、ヨーロッパでは地域ごとに「おはよう」などの日常的な挨拶の語根が共通する傾向が見られます。（2021年 島根県公立入試 類似）
1. スラブ系 — 主に北ヨーロッパに分布し、ロシア語やポーランド語が属する。 2. ラテン系 — 主に南ヨーロッパに分布し、フランス語やイタリア語が属する。 3. ラテン系 — 主に北欧諸国に分布し、ノルウェー語やスウェーデン語が属する。 4. ゲルマン系 — 主に東ヨーロッパに分布し、英語やドイツ語が属する。

答え合わせ・解説

問1	答え 3 オリーブ	地中海沿岸では、夏にほとんど雨が降らない地中海性気候が広がっています。このため、乾燥に強いオリーブやブドウなどの栽培が盛んです。オリーブは葉が小さく硬いため、水分が蒸発するのを防ぐことができ、この地域の厳しい夏の環境に適しています。一方、カカオや油やしは一年中雨が多くて暑い熱帯の気候で栽培される作物です。
問2	答え 4 賃金の低い東欧から、より高い賃金を求めて西欧・北欧へ労働力が移動している	ヨーロッパ連合（EU）内では、加盟国間に依然として大きな経済格差が存在します。最低賃金が域内平均を大きく下回る東欧諸国（ポーランド、ルーマニア、ブルガリアなど）から、より良い待遇や賃金を求めて、平均を大きく上回る西欧諸国（ドイツ、フランスなど）や北欧諸国へ労働力が移動する現象が顕著です。これはEUが掲げる「人の移動の自由」という制度的背景も関係しています。
問3	答え 3 ユーロ	ヨーロッパ連合（EU）では、加盟国間での貿易を活発にし、経済統合を進めるために共通通貨であるユーロを導入しました。これにより、国を越えて移動する際の両替の手間や手数料が省けるようになりました。イギリス（現在は離脱）のようにEU加盟時でも独自の通貨であるポンドを使い続けた国もあり、すべての加盟国が導入しているわけではありません。
問4	答え 3 ドイツ	ドイツは「エネルギー転換（エネルギーヴェンデ）」を国策として掲げ、風力や太陽光などの再生可能エネルギーの導入を強力に進めてきました。その結果、主要国の中でも再生可能エネルギーの発電割合が極めて高い水準にあります。一方、フランスは原子力発電の割合が非常に高く、アメリカ合衆国は総発電電力量が桁違いに大きいという特徴があります。
問5	答え 2 生産量の多い小麦を主原料とした、パスタやピザを食べる文化が定着している。	イタリアでは北部の平野部などで小麦の栽培が盛んであり、統計上も米など他の穀物に比べて生産量が多いことが示されています。このため、収穫された小麦を粉にして加工するパスタやピザが、国の代表的な食文化として発展しました。
問6	答え 3 期待して加盟した国がクロアチア、離脱を選択した国がイギリス	EU（欧州連合）は、加盟国間の経済格差を是正するために、所得の低い地域へ補助金を出すなどの支援を行っています。2013年に加盟したクロアチアなどは、こうした支援や市場の拡大を大きなメリットとして捉えていました。一方、イギリスでは、EU域内での「人の移動の自由」による移民の増加や、共通政策が自国の文化・主権に干渉することへの不満が高まり、2020年に正式に離脱しました。このように、統合の深化は経済発展のチャンスになる一方で、自国の裁量が減るという課題も抱えています。
問7	答え 3 アルプス山脈	イタリア北部から周辺国にかけて広がるこの山脈は、新期造山帯に属しており、標高4000メートルを超える山々が連なる険しい地形が特徴です。北欧のノルウェーなどで見られる、氷河によって削られた複雑な入り江である「フィヨルド」とは、その形成過程や位置が明確に異なります。
問8	答え 1 製造業・建設業	日本の産業分類では、自然界から直接資源を採取する農業、林業、漁業を第1次産業、それらを加工する鉱業、建設業、製造業を第2次産業と定義しています。商業、運輸業、サービス業などは第3次産業に分類されます。経済が発展するにつれて、就業人口の中心が第1次産業から第2次産業、さらに第3次産業へと移行していく傾向が見られます。
問9	答え 2 形成された時代が新しいため、標高が高く険しい新期造山帯に属している。	アルプス山脈はアルプス・ヒマラヤ造山帯に含まれる新期造山帯の山脈です。地殻変動が活発な時期に形成されたため、浸食がまだ十分に進んでおらず、4000メートル級の鋭い山々が連なっているのが最大の特徴です。
問10	答え 4 地中海性気候	イタリアの大部分は温帯の中でも、夏に乾燥し冬に雨が降る「地中海性気候」に属しています。この気候下では、冬の水分を利用して小麦を育てる形態が伝統的に行われてきました。九州地方での小麦栽培（裏作）と収穫時期が重なるのは、日本の場合、梅雨の長雨による品質低下や穂発芽（収穫前に芽が出てしまうこと）を防ぐため、梅雨入り前の乾燥した時期に収穫を終える必要があるという事情があります。どちらも「収穫期の乾燥」を重視している点が共通しています。
問11	答え 1 X：アルプス Y：地中海沿岸の夏の乾燥した気候	アルプス山脈はヨーロッパにおける大きな地理的・文化的境界となっており、その南側にはラテン系言語圏が広がっています。この地域は地中海性気候に属し、夏に雨が少なく乾燥するため、その気候に適応した地中海式農業が発展しました。オリーブなどの樹木作物の栽培は、この気候的背景と密接に関わっています。
問12	答え 2 プレートの運動によって地層が押し曲げられて形成された、険しい褶曲山脈である。	アルプス山脈は、アフリカプレートとユーラシアプレートが衝突する際の強い圧力によって地層が波状に押し曲げられ、隆起してできた「褶曲（しゅうきよく）山脈」です。このように、比較的新しい時代に形成された高くて険しい山脈が連なっている地域を新期造山帯と呼びます。選択肢にあるピレネー山脈（フランス・スペイン国境）やヒマラヤ山脈（アジア）との位置関係の違いを把握しておくことが重要です。
問13	答え 2 ラテン系 ― 主に南ヨーロッパに分布し、フランス語やイタリア語が属する。	南ヨーロッパに位置するフランス、イタリア、スペインなどは、古代ローマ帝国で使われていたラテン語を起源とするラテン系の言語が広く分布しています。イギリスやドイツ、北欧諸国などの北西部はゲルマン系、ロシアを含む東部はスラブ系という分布の特徴を理解しておくことが重要です。